

教科(科目)	福祉(介護実習)	実施学年 (履修規定)	第3学年 必修
単位数	福祉科 5単位	教科書	介護総合演習(メヂカルフレンド社)
		副教材	
科目の目標	介護に関する体験的な学習を多様な介護の場において行い、知識と技術を統合させ、介護従事者としての役割を理解させるとともに、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	多様な介護の場における実習をとおして、サービス利用者の理解を図る。		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4				
5		○事前健康診断の実施 ○事前オリエンテーションの実施	受診への取り組み 記録簿	・体調管理への意欲 ・施設概要及び利用者、実習内容の理解
6	応用実習 (前期)	特別養護老人ホーム 3施設 介護老人保健施設 5施設 身体障害者療護施設 1施設 16日間(7.5時間×16)	施設巡回指導 実習記録簿 カンファレンスシート アセスメントシート	・実習への心構えができてい る。 ・事前準備や学習ができてい る。 ・目標を持って実習に臨んで いる。 ・記録の基本的記入方法が習 得できる。 ・利用者や職員とコミュニケ ーションは図られている。 ・利用者に応じた介護ができ る。 ・利用者の状況を把握できる。
7	応用実習 (後期)	8日間(7.5時間×8)	施設巡回指導 実習記録簿 カンファレンスシート アセスメントシート 介護計画	・利用者の状況に応じた介護 ができる。 ・受け持ち利用者の介護課題 を理解できる。 ・施設における介護上の課題 解決の計画を立てることが 出来る。 ・個別の介護計画に沿った介 護出来る。
8	夏季休暇			
9				
10				
11				
12				
	冬期休暇			
1				
2				
3				

評価の観点及び趣旨

- ① 関心・意欲・態度  
社会福祉に関して学んだ基本的知識や技術を、高齢者や障害者の総合的介護における対人援助場面において、実践して主体的に学ぼうとする。また、介護実習を通じて介護専門職の職業観、勤労観を持つ。
- ② 思考・判断  
社会福祉に関して学んだ基本的知識や技術を、高齢者や障害者の総合的介護における対人援助場面において、統合的に思考し判断できる。
- ③ 技能・表現  
社会福祉や介護に関して学んだ基本的知識や技術を活用して、高齢者や障害者の総合的介護において、総合的に援助の技術を用いて、適切に表現する。
- ④ 知識・理解  
福祉施設における高齢者や障害者の介護や福祉制度のあり方について科学的に理解する。

「社会福祉実習」の総合評価における各観点の割合

- |            |       |         |       |
|------------|-------|---------|-------|
| ① 関心・意欲・態度 | 25%程度 | ② 思考・判断 | 25%程度 |
| ③ 技能・表現    | 25%程度 | ④ 知識・理解 | 25%程度 |